

事務局長就任にあたって

ダイヤ高齢社会研究財団 理事事務局長 浅野 洋介



本年6月6日に開催された当財団評議員会におきまして、前田実前事務局長の後任理事として選任され、事務局長を務めることになりました。前田前事務局長は2014年4月から当財団に4年3ヶ月在籍し、その間、収益事業・社会貢献活動助成事業等の新設による事業の多様化、安定的な事業継続と調査研究の質的向上を図る為の財団資産の有効活用など、財団運営の発展にご尽力されました。微力ではございますが、その軌跡を継承発展させていく決意しております。

さて、今回財団に赴任するにあたり、先輩より推薦いただいた高齢社会関連の書籍を読み、人生100年時代を迎えて無形資産（スキル、知識、肉体・精神の健康、人的ネットワーク等）の重要性など、充実した人生を過ごす為の考え方に革新的な変化が起こっている事を改めて認識致しました。当財団でも『100歳までのライフプラン～将来の経済リスクに今から備える』をテーマにしたシンポジウムの開催等、今後に活かしていく事業を推進している事を実感し、ご支援くださっている賛助会員各社様の見識の高さを感じた次第です。

近年発表した『仕事と介護の両立』に関する調査結果には、マスメディア等から反響を多数いただきました。また、ダイヤ財団新書の発行や電子書籍での公開などにより、賛助会員各社の方々はじめ多くの皆様に財団の事業内容をご理解いただくきっかけにもなりました。

2017年度からスタートした収益事業等についても4件の調査研究を受託した他、賛助会員企業退職者の社会貢献活動グループへの助成が5団体と着実に新事業も前進しております。

当財団は本年6月に設立25周年を迎えました。ここを節目として、今まで蓄積してきた研究成果を踏まえて、より一層社会に貢献することが求められていると感じます。平均寿命の延びや少子化に伴い人口構成が大きく変化するわが国で、当財団の研究や活動が、幸せで活力のある長寿社会の実現へ向けた取組みを加速する流れの一翼を担えるよう、微力ではございますが努力を重ねていく所存です。今後とも、皆様のご指導・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。